

## 3章 関数とグラフ

## §2 いろいろな関数 (p.99～p.100)

## 練習問題 2-A

1.  $y = f(x)$  とおく.

$$\begin{aligned}
 (1) \quad f(-x) &= \frac{(-x)^2}{\sqrt{(-x)^2 + 1}} \\
 &= \frac{x^2}{\sqrt{x^2 + 1}} \\
 &= f(x)
 \end{aligned}$$

よって, 偶関数である.

$$\begin{aligned}
 (2) \quad f(-x) &= (-x)^5 - 3 \cdot (-x)^3 \\
 &= -x^5 + 3x^3 \\
 &= -(x^5 - 3x^3) \\
 &= -f(x)
 \end{aligned}$$

よって, 奇関数である.

$$\begin{aligned}
 (3) \quad f(-x) &= (-x)^6 + 3 \cdot (-x)^3 \\
 &= x^6 - 3x^3
 \end{aligned}$$

$$f(-x) \neq f(x), \quad f(-x) \neq -f(x)$$

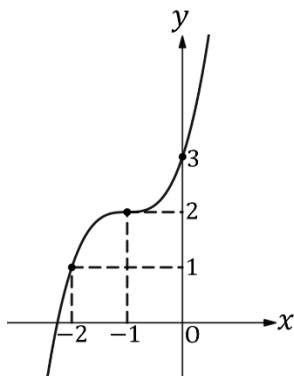
よって, 奇関数でも偶関数でもない.

$$\begin{aligned}
 (4) \quad f(-x) &= |-x| + 1 \\
 &= x + 1 \\
 &= f(x)
 \end{aligned}$$

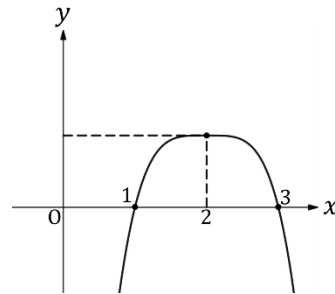
よって, 偶関数である.

2.

(1) この関数のグラフは,  $y = x^3$  のグラフを,  
 $x$  軸方向に $-1$ ,  $y$  軸方向に $2$ 平行移動したものである.



(2) この関数のグラフは,  $y = -x^4$  のグラフを,  
 $x$  軸方向に $2$ ,  $y$  軸方向に $1$ 平行移動したものである.



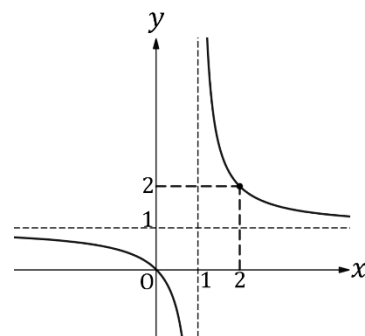
(3) 分子を分母で割ると

$$\begin{array}{r}
 1 \\
 x-1 \overline{) x} \\
 \underline{x-1} \\
 1
 \end{array}$$

$$\text{よって, } y = \frac{1}{x-1} + 1$$

この関数のグラフは,  $y = \frac{1}{x}$  のグラフを,

$x$  軸方向に $1$ ,  $y$  軸方向に $1$ 平行移動したものである.

定義域は,  $x \neq 1$ , 値域は,  $y \neq 1$ 漸近線は,  $x = 1$ ,  $y = 1$ 

【式変形別解】

$$\begin{aligned}
 y &= \frac{(x-1)+1}{x-1} \\
 &= \frac{x-1}{x-1} + \frac{1}{x-1} \\
 &= \frac{1}{x-1} + 1
 \end{aligned}$$

$$(4) \quad y = \frac{-x+2}{x+1} \text{ であるから}$$

分子を分母で割ると

$$\begin{array}{r} -1 \\ x+1 \overline{) -x+2} \\ \underline{-x-1} \phantom{0} \\ 3 \phantom{0} \end{array}$$

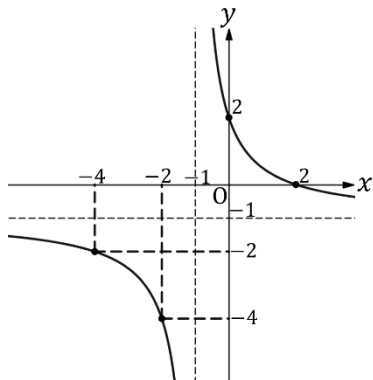
よって,  $y = \frac{3}{x+1} - 1$

この関数のグラフは,  $y = \frac{3}{x}$  のグラフを,

$x$  軸方向に  $-1$ ,  $y$  軸方向に  $-1$  平行移動したものである.

定義域は,  $x \neq -1$ , 値域は,  $y \neq -1$

漸近線は,  $x = -1$ ,  $y = -1$



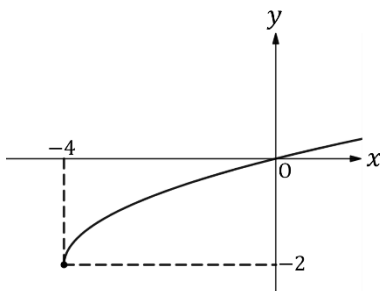
【式変形別解】

$$\begin{aligned} y &= \frac{-(x+1)+3}{x+1} \\ &= \frac{-(x+1)}{x+1} + \frac{3}{x+1} \\ &= \frac{3}{x+1} - 1 \end{aligned}$$

(5) この関数のグラフは,  $y = \sqrt{x}$  のグラフを,

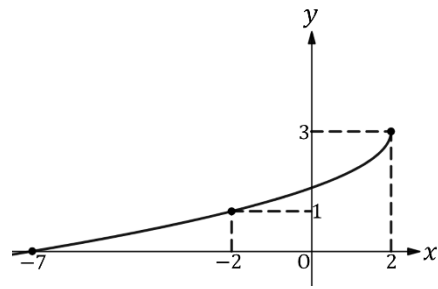
$x$  軸方向に  $-4$ ,  $y$  軸方向に  $-2$  平行移動したものである.

定義域は,  $x+4 \geq 0$  より,  $x \geq -4$ , 値域は,  $y \geq -2$



(6)  $y = -\sqrt{-(x-2)} + 3$  であるから, この関数のグラフは,  $y = -\sqrt{-x}$  のグラフを,  $x$  軸方向に  $2$ ,  $y$  軸方向に  $3$  平行移動したものである.

定義域は,  $2-x \geq 0$  より,  $x \leq 2$ , 値域は,  $y \leq 3$



3.

分子を分母で割ると

$$\begin{array}{r} 1 \\ x+1 \overline{) x-3} \\ \underline{x+1} \phantom{0} \\ -4 \phantom{0} \end{array}$$

よって,  $y = -\frac{4}{x+1} + 1$

この関数のグラフは,  $y = -\frac{4}{x}$  のグラフを,

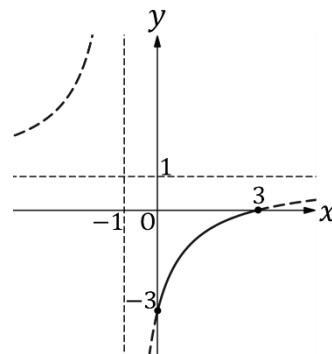
$x$  軸方向に  $-1$ ,  $y$  軸方向に  $1$  平行移動したものである.

定義域は,  $x \neq -1$ , 値域は,  $y \neq 1$

漸近線は,  $x = -1$ ,  $y = 1$

また,  $x = 0$  のとき,  $y = -3$

$x = 3$  のとき,  $y = 0$



よって, 値域は,  $-3 \leq y \leq 0$

【式変形別解】

$$\begin{aligned} y &= \frac{(x+1)-4}{x+1} \\ &= \frac{x+1}{x+1} + \frac{-4}{x+1} \\ &= -\frac{4}{x+1} + 1 \end{aligned}$$

4.

グラフが, 点  $(-1, 3)$  を通るので

$$3 = \frac{a \cdot (-1) + b}{-1 + 2}$$

$$3 = \frac{-a+b}{1}$$

すなわち,  $-a+b=3 \cdots \textcircled{1}$

また

$$\begin{aligned} y &= \frac{a(x+2)-2a+b}{x+2} \\ &= \frac{a(x+2)}{x+2} + \frac{-2a+b}{x+2} \\ &= \frac{-2a+b}{x+2} + a \end{aligned}$$

よって, 漸近線は,  $x=-2$ ,  $y=a$ であるから,

$$a=2$$

これを,  $\textcircled{1}$ に代入して

$$-2+b=3$$

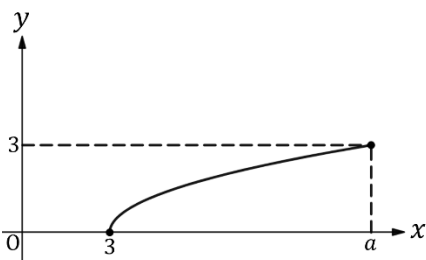
$$b=5$$

したがって,  $a=2$ ,  $b=5$

5.

この関数のグラフは,  $y=\sqrt{x}$ のグラフを $x$ 軸方向に3平行移動したものである.

定義域は,  $x-3 \geq 0$ より,  $x \geq 3$



グラフより,  $x=a$ のとき,  $y=3$ となればよいので

$$3 = \sqrt{a-3}$$

両辺を2乗して

$$9 = a-3$$

$$a=12$$

6.

(1) 逆関数は,  $x=-ay+b$

これを,  $y$ について解くと

$$ay = -x+b$$

$a \neq 0$ なので

$$y = -\frac{1}{a}x + \frac{b}{a}$$

定義域, 値域は, すべての実数.

(2) この関数の定義域は,  $x \leq 0$ , 値域は,  $y \leq 1$ で

あるから, 逆関数の定義域, 値域はそれぞれ

$$x \leq 1, y \leq 0$$

逆関数は,  $x=1-y^2$

これを $y$ について解くと

$$y^2 = 1-x$$

$$y = \pm\sqrt{1-x}$$

$y \leq 0$ なので

$$y = -\sqrt{1-x}$$

(3) この関数の定義域は,  $x \neq b$ , 値域は,  $y \neq 0$ で

あるから, 逆関数の定義域, 値域はそれぞれ

$$x \neq 0, y \neq b$$

逆関数は,  $x = \frac{a}{y-b}$

これを,  $y$ について解くと

$$x(y-b) = a$$

$x \neq 0$ なので

$$y-b = \frac{a}{x}$$

$$y = \frac{a}{x} + b$$

$$(4) y = \frac{(x+2)-5}{x+2}$$

$$= \frac{x+2}{x+2} + \frac{-5}{x+2}$$

$$= -\frac{5}{x+2} + 1$$

この関数の定義域は,  $x \neq -2$ , 値域は,  $y \neq 1$ である

から, 逆関数の定義域, 値域はそれぞれ  $x \neq 1$ ,  $y \neq -2$

逆関数は,  $x = \frac{y-3}{y+2}$

これを,  $y$ について解くと

$$x(y+2) = y-3$$

$$xy+2x = y-3$$

$$y(x-1) = -2x-3$$

$x \neq 1$ なので

$$y = \frac{-2x-3}{x-1}$$

7.

この関数の定義域は,  $x \geq 2$ , 値域は,  $y \geq 3$ で

あるから, 逆関数の定義域, 値域はそれぞれ

$$x \geq 3, y \geq 2$$

$$\text{逆関数は, } x = (y - 2)^2 + 3$$

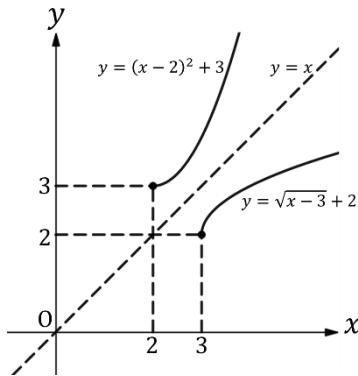
これを,  $y$ について解くと

$$(y - 2)^2 = x - 3$$

$y \geq 2$ より,  $y - 2 \geq 0$ であるから

$$y - 2 = \sqrt{x - 3}$$

$$y = \sqrt{x - 3} + 2 \quad (x \geq 3)$$



## 練習問題 2-B

1.

グラフが原点を通るから

$$0 = \frac{0 + b}{0 + c}$$

すなわち,  $b = 0$

また

$$y = \frac{a(x + c) - ac + b}{x + c}$$

$$= \frac{a(x + c)}{x + c} + \frac{-ac + b}{x + c}$$

$$= \frac{b - ac}{x + c} + a$$

よって, 漸近線は,  $x = -c, y = a$ であるから

$$-c = 1, a = 2$$

以上より,  $a = 2, b = 0, c = -1$

2.

$y = \sqrt{-x}$ のグラフを,  $x$ 軸方向に2,  $y$ 軸方向に $k$ 平行移動したグラフの式は,  $y - k = \sqrt{-(x - 2)}$ である.

このグラフが, 原点を通るので

$$0 - k = \sqrt{-(0 - 2)}$$

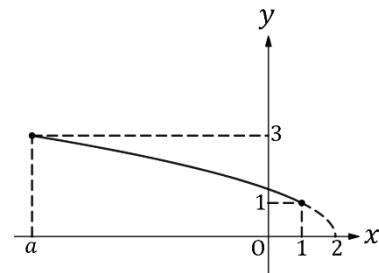
$$-k = \sqrt{2}$$

$$k = -\sqrt{2}$$

3.

$y = \sqrt{-(x - 2)}$ であるから, このグラフは,  $y = \sqrt{-x}$ のグラフを,  $x$ 軸方向に2平行移動したものである.

定義域は,  $2 - x \geq 0$ より,  $x \leq 2$



グラフより,  $x = a$ のとき,  $y = 3$ となればよいので

$$3 = \sqrt{2 - a}$$

両辺を2乗して

$$9 = 2 - a$$

$$a = -7$$

4.

$$y = \frac{2(x + k) - 2k - 1}{x + k}$$

$$= \frac{2(x + k)}{x + k} + \frac{-2k - 1}{x + k}$$

$$= \frac{-2k - 1}{x + k} + 2$$

逆関数が存在するためには,  $-2k - 1 \neq 0$ , すなわち,

$$k \neq -\frac{1}{2}$$

このとき, この関数の定義域は,  $x \neq -k$

値域は,  $y \neq 2$ であるから, 逆関数の定義域は,  $x \neq 2$

値域は,  $y \neq -k$

逆関数は,  $x = \frac{2y - 1}{y + k}$ であるから, これを $y$ について

解くと

$$(y + k)x = 2y - 1$$

$$xy + kx = 2y - 1$$

$$(x - 2)y = -kx - 1$$

$x \neq 2$ であるから

$$y = \frac{-kx - 1}{x - 2}$$

これと, もとの関数である $y = \frac{2x - 1}{y + k}$ が一致するので,

$$\frac{-kx - 1}{x - 2} = \frac{2x - 1}{y + k} \text{ となるから, } k = -2$$

※ $x$ についての恒等式として解いてもよい.

5.

$$f(x) = \frac{a(x-2) + 2a + b}{x-2}$$

$$= \frac{2a+b}{x-2} + a$$

逆関数が存在するためには、 $2a+b \neq 0$

このとき

この関数の定義域は、 $x \neq 2$ 、値域は、 $y \neq a$ である

から、逆関数の定義域は、 $x \neq a$ 、値域は、 $y \neq 2$

逆関数は、 $x = \frac{ay+b}{y-2}$ であるから、これを $y$ について

解くと

$$(y-2)x = ay+b$$

$$xy - 2x = ay + b$$

$$(x-a)y = 2x+b$$

$x \neq a$ であるから

$$g(x) = \frac{2x+b}{x-a}$$

$f(1) = 2$ より

$$2 = \frac{a+b}{1-2}, \text{ すなわち, } a+b = -2 \cdots \textcircled{1}$$

$g(4) = 3$ より

$$3 = \frac{8+b}{4-a}, \text{ すなわち, } 3(4-a) = 8+b$$

整理すると、 $3a+b = 4 \cdots \textcircled{2}$

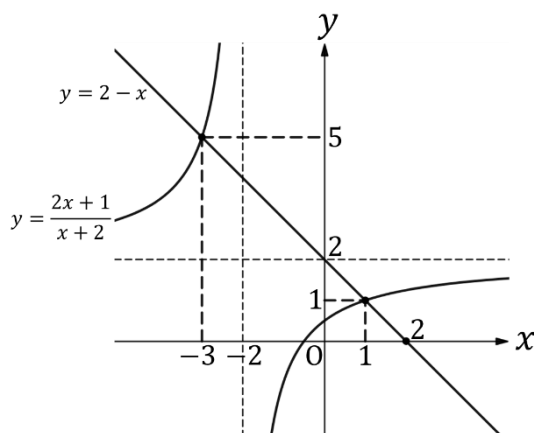
①、②の連立方程式を解くと、 $a = 3, b = -5$

6.

$$(1) y = \frac{2(x+2)-3}{x+2}$$

$$= -\frac{3}{x+2} + 2$$

この関数の定義域と値域はそれぞれ、 $x \neq -2, y \neq 2$



$$(2) \begin{cases} y = \frac{2x+1}{x+2} \\ y = 2-x \end{cases} \text{ を解くと}$$

$$\frac{2x+1}{x+2} = 2-x$$

$$2x+1 = (2-x)(x+2)$$

$$2x+1 = -x^2+4$$

$$x^2+2x-3=0$$

$$(x-1)(x+3)=0$$

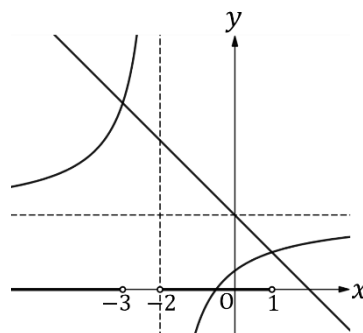
$$x = 1, -3$$

$$x = 1 \text{ のとき, } y = 1$$

$$x = -3 \text{ のとき, } y = 5$$

よって、交点の座標は、 $(1, 1), (-3, 5)$

(3)



$y = 2-x$ のグラフが、 $y = \frac{2x-1}{x+2}$ のグラフより上側に

ある範囲が不等式の解であるから

$$x < -3, -2 < x < 1$$

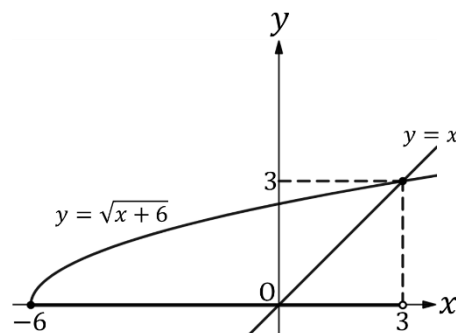
7.

$$(1) \begin{cases} y = \sqrt{x+6} \\ y = x \end{cases} \text{ とする.}$$

$y = \sqrt{x+6}$ の定義域は、 $x+6 \geq 0$ より、 $x \geq -6$

値域は、 $y \geq 0$

$y \geq \sqrt{x+6}$ と $y = x$ のグラフをかくと



交点の座標を求めるために、 $\sqrt{x+6} = x$ を解くと

$$x + 6 = x^2$$

$$x^2 - x - 6 = 0$$

$$(x + 2)(x - 3) = 0$$

$$x = -2, 3$$

$x = -2$ のとき, 左辺 = 2, 右辺 =  $-2$ よって, 無縁解.

$x = 3$ のとき, 左辺 = 右辺 = 3

よって, 交点の座標は, (3, 3)

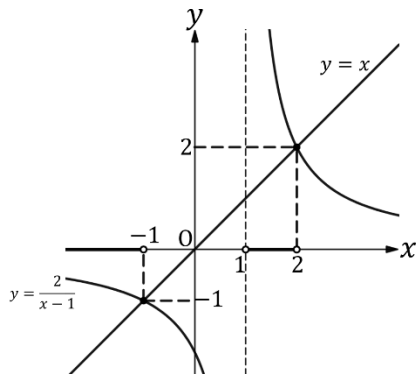
$y = \sqrt{x+6}$ のグラフが,  $y = x$ のグラフより上側にある範囲が不等式の解であるから

$$-6 \leq x < 3$$

$$(2) \begin{cases} y = \frac{2}{x-1} \\ y = x \end{cases} \text{ とする.}$$

$y = \frac{2}{x-1}$ の定義域は,  $x \neq 1$ , 値域は,  $y \neq 0$

$y = \frac{2}{x-1}$ と $y = x$ のグラフをかくと



交点の座標を求めるために,  $\frac{2}{x-1} = x$ を解くと

$$2 = x(x - 1)$$

$$2 = x^2 - x$$

$$x^2 - x - 2 = 0$$

$$(x + 1)(x - 2) = 0$$

$$x = -1, 2$$

$x = -1$ のとき,  $y = -1$

$x = 2$ のとき,  $y = 2$

よって, 交点の座標は, (-1, -1), (2, 2)

$y = \frac{2}{x-1}$ のグラフが,  $y = x$ のグラフより上側に

ある範囲が不等式の解であるから

$$x < -1, 1 < x < 2$$